

# 貸借対照表

2020年3月31日現在

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>【流動資産】</b>	<b>【275,562】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【2,892,539】</b>
現金及び預金	233,777	一年以内返済長期借入金	159,044
材料貯蔵品	28	短期借入金	2,629,200
前払利息	2,321	未払金	55,594
前払費用	9,911	未払利息	91
未収入金	29,524	未払法人税等	296
		未払消費税	23,471
		未払費用	193
		前受収益	16,281
<b>【固定資産】</b>	<b>【3,091,208】</b>	預り金	8,050
(有形固定資産)	(2,882,904)	賞与引当金	316
建物及び付属設備	2,456,252		
構築物	2	<b>【固定負債】</b>	<b>【1,022,010】</b>
機械装置	331,003	長期借入金	364,076
工具・器具及び備品	95,645	預り敷金	355,071
		資産除去債務	299,743
(無形固定資産)	(882)	退職給付引当金	3,118
電話加入権	296		
ソフトウェア	586	負債合計	3,914,549
		(純資産の部)	
(投資その他の資産)	(207,421)	<b>【株主資本】</b>	<b>【△547,778】</b>
投資有価証券	4	(資本金)	(10,000)
出資金	0	(資本剰余金)	(181,983)
長期貸付金	550,000	その他資本剰余金	181,983
長期営業外未収入金	632,128	(剰余金)	(△739,761)
敷金	477	その他利益剰余金	△739,761
長期前払費用	3,969	繰越利益剰余金	△739,761
貸倒引当金	△979,158		
		純資産合計	△547,778
資産合計	3,366,770	負債・純資産合計	3,366,770

# 損益計算書

2019年4月1日から 2020年3月31日まで

(単位:千円)

科目	金額	
【売上高】		633,210
【売上原価】		662,529
売上総損失		29,318
【販売費及び一般管理費】		253,143
営業損失		282,461
【営業外収益】		
受取利息	2,925	
その他	685	3,611
【営業外費用】		
支払利息	19,343	
保証料	579	
雑損失	7,510	27,434
経常損失		306,285
【特別損失】		
固定資産除却損	0	0
税引前当期純損失		306,285
【法人税・住民税および事業税】		
法人税・住民税及び事業税	296	296
当期純損失		306,581

# 個別注記表

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しております。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券 関連会社株式 …… 移動平均法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産(リース資産を除く) …… 定額法を採用しております。  
なお、主な耐用年数は次の通りです。

建物及び付属設備	3年～39年
構築物	15年
機械及び装置	8年～10年
工具、器具及び備品	3年～10年

② リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金 …… 一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不可能見込額を計上しております。

② 賞与引当金 …… 従業員に対して支給する賞与の支払にあてるため、将来支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

③ 退職給付引当金 …… 従業員の退職給付に備えるため、期末自己都合要支給額を計上しております。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の処理方法 …… リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

② 消費税等の会計処理 …… 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末における発行済株式数 普通株式 72,000株

4. その他の注記

記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。